



平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成16年7月27日

上場会社名 株式会社ファンケル

(コード番号:4921 東証第1部)

(URL <http://www.fancl.co.jp/>)

問合せ先 代表取締役社長執行役員 藤原 謙次
取締役常務執行役員 経営戦略本部長 中島 純也

TEL:(045)226-1200

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)

固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産……年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

(2)無形固定資産……年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

法人税等の計上基準……法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

最近連結会計年度からの会計処理変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	20,951	0.3	862	71.9	837	72.5	212	87.6
16年3月期第1四半期	20,885	5.0	3,066	15.0	3,046	15.7	1,714	18.1
(参考)16年3月期	84,956		7,769		7,686		3,387	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	9.97	-
16年3月期第1四半期	76.92	-
(参考)16年3月期	154.61	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当四半期のわが国経済は、輸出や企業収益に回復の兆しが見られるものの、雇用や年金問題などの先行き不透明感が強く、個人消費が低迷するなど、依然として厳しい状況が続いております。

化粧品業界は、基礎化粧品が横ばい傾向にあるものの、マーケット全体は厳しい環境にあります。

健康食品業界は、市場規模は拡大しておりますが、新規参入による競争激化が顕著となっております。

当四半期の売上高は20,951百万円(前年同期比0.3%増)となりました。化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業の売上高は前年同期を上回りましたが、発芽玄米や青汁などその他事業の売上高が前年同期を下回ったため、ほぼ前年同期並みの売上高となりました。

新規顧客獲得のため、広告宣伝費を前年同期のほぼ倍の3,005百万円投下したことなどにより、営業利益は862百万円(前年同期比71.9%減)、営業利益率は10.6ポイント低下し4.1%となり、経常利益は837百万円(前年同期比72.5%減)、経常利益率は10.6ポイント低下し4.0%となりました。

四半期純利益は、発芽玄米の新製法導入に伴うリース解約損を計上したことにより、212百万円(前年同期比87.6%減)、四半期純利益率は前年同期より7.2ポイント低下し1.0%となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	77,604	65,297	84.1	3,067.94
16年3月期第1四半期	79,439	67,556	85.0	3,030.63
(参考)16年3月期	78,479	65,613	83.6	3,082.47

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	968	517	460	21,614
16年3月期第1四半期	30	1,178	486	24,733
(参考)16年3月期	5,861	4,118	4,532	23,561

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、21,614百万円となり、前連結会計年度末より1,946百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、968百万円となりました。この内訳の主なものは税金等調整前当期純利益703百万円、減価償却費577百万円による増加と、たな卸資産の増加額800百万円、法人税等の支払額1,040百万円等による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、517百万円となりました。これは主に、店舗のリニューアルなどによる支出267百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、460百万円となりました。これは、配当金の支払額によるものであります。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書など

以上

[参 考]

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	42,950	1,300	500
通期	93,000	5,200	2,700

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 126円84銭

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

業績につきましては概ね予想どおり推移しており、現時点においては前回発表(平成16年4月27日)の業績予想に変更はありません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末)		当四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)		(参考) 平成16年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	17,001		13,882		15,828	
受取手形及び売掛金	8,280		8,468		7,814	
有価証券	7,731		7,732		7,732	
たな卸資産	5,170		6,272		5,472	
その他	2,119		2,395		2,388	
流動資産合計	40,304	50.7	38,751	49.9	39,236	50.0
固定資産						
1.有形固定資産						
建物及び構築物	11,098		12,457		12,701	
土地	10,202		10,847		10,847	
その他	5,277		3,115		3,217	
有形固定資産合計	26,578	33.5	26,420	34.1	26,767	34.1
2.無形固定資産	2,196	2.8	1,481	1.9	1,636	2.1
3.投資その他の資産						
出資金	2,236		2,392		2,388	
投資有価証券	946		1,290		1,083	
保証金	2,403		2,457		2,502	
その他	4,773		4,809		4,864	
投資その他の資産合計	10,360	13.0	10,950	14.1	10,839	13.8
固定資産合計	39,135	49.3	38,853	50.1	39,242	50.0
資産合計	79,439	100.0	77,604	100.0	78,479	100.0
(負債の部)		%		%		%
流動負債						
支払手形及び買掛金	3,149		3,478		3,172	
未払金	2,281		3,070		4,273	
未払法人税等	1,406		559		1,105	
その他	2,977		2,314		1,471	
流動負債合計	9,814	12.4	9,423	12.2	10,022	12.8
固定負債						
退職給付引当金	1,143		1,228		1,196	
役員退職慰労引当金	383		1,237		1,210	
その他	541		417		437	
固定負債合計	2,068	2.6	2,883	3.7	2,843	3.6
負債合計	11,883	15.0	12,307	15.9	12,866	16.4
(資本の部)						
資本金	10,795	13.6	10,795	13.9	10,795	13.7
資本剰余金	11,706	14.7	11,706	15.1	11,706	14.9
利益剰余金	49,239	62.0	50,207	64.7	50,528	64.4
その他有価証券評価差額金	9	0.0	54	0.0	54	0.1
為替換算調整勘定	5	0.0	-	-	4	0.0
自己株式	4,168	5.3	7,466	9.6	7,466	9.5
資本合計	67,556	85.0	65,297	84.1	65,613	83.6
負債・資本合計	79,439	100.0	77,604	100.0	78,479	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)		(参考) 平成16年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	20,885	100.0	20,951	100.0	84,956	100.0
売 上 原 価	7,090	33.9	7,187	34.3	29,260	34.4
売 上 総 利 益	13,794	66.1	13,763	65.7	55,696	65.6
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	10,728	51.4	12,901	61.6	47,926	56.4
営 業 利 益	3,066	14.7	862	4.1	7,769	9.1
営 業 外 収 益	23	0.1	53	0.3	701	0.8
受取利息及び配当金	3		3		40	
その他営業外収益	20		50		661	
営 業 外 費 用	43	0.2	77	0.4	784	0.9
支払利息	3		-		2	
その他営業外費用	39		77		781	
経 常 利 益	3,046	14.6	837	4.0	7,686	9.0
特 別 利 益	-		18	0.1	0	0.0
特 別 損 失	-		153	0.7	1,472	1.7
固定資産処分損	-		10		340	
その他特別損失	-		143		1,132	
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	3,046	14.6	703	3.4	6,213	7.3
法人税、住民税及び事業税	1,362	6.5	495	2.4	3,153	3.7
法人税等調整額	30	0.0	4	0.0	326	0.4
当 期 純 利 益	1,714	8.2	212	1.0	3,387	4.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項 目	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	(参考) 平成16年3月期
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	3,046	703	6,213
減価償却費	590	577	2,556
賞与引当金の増減額(減少:)	408	428	60
退職給付引当金の増減額(減少:)	25	32	77
受取利息及び配当金	3	3	40
有価証券売却益	-	18	-
有形固定資産処分損	-	7	157
売上債権の増減額(増加:)	72	654	406
たな卸資産の増減額(増加:)	68	800	369
その他の流動資産の増減額(増加:)	562	36	228
仕入債務の増減額(減少:)	180	305	168
その他の流動負債の増減(減少:)	467	646	811
その他	56	172	859
小 計	2,773	202	10,216
利息及び配当金の受取額	2	4	37
法人税等の支払額	2,744	1,040	4,954
その他	0	271	561
営業活動によるキャッシュ・フロー	30	968	5,861
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	906	267	3,341
無形固定資産の取得による支出	292	77	584
投資有価証券の売却による収入	-	38	2
その他の投資の取得による支出	67	44	379
その他	88	166	184
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,178	517	4,118
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	100	-	350
自己株式の取得による取得	-	-	3,297
配当金の支払額	386	460	884
財務活動によるキャッシュ・フロー	486	460	4,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	-	20
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	1,636	1,946	2,808
現金及び現金同等物の期首残高	26,370	23,561	26,370
現金及び現金同等物の期末残高	24,733	21,614	23,561

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

4.セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前年同四半期(15.4.1~15.6.30)

(単位:百万円)

	化粧品 関連事業	健康食品 関連事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,854	6,844	5,186	20,885	-	20,885
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	8,854	6,844	5,186	20,885	-	20,885
営業費用	6,686	5,554	5,059	17,300	518	17,818
営業利益又は営業損失()	2,168	1,289	127	3,584	(518)	3,066

当四半期(16.4.1~16.6.30)

(単位:百万円)

	化粧品 関連事業	栄養補助食品 関連事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,870	7,230	4,850	20,951	-	20,951
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	8,870	7,230	4,850	20,951	-	20,951
営業費用	7,272	6,619	5,693	19,584	503	20,088
営業利益又は営業損失()	1,597	611	843	1,366	(503)	862

(注) 当期より「健康食品関連事業」は「栄養補助食品関連事業」に名称を変更しております。

セグメント別の状況

1) 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は、8,870百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

ファンケル化粧品はフェナティを中心とした基礎化粧品の不振が続いておりますが、アテニア化粧品は通販顧客数が過去最高となるなど好調に推移しました。

	平成16年3月期 第1四半期		平成17年3月期 第1四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
ファンケル化粧品	6,662百万円	75.2%	6,539百万円	73.7%	1.8%
アテニア化粧品	2,054百万円	23.2%	2,280百万円	25.7%	11.0%
その他	137百万円	1.6%	49百万円	0.6%	63.6%
合計	8,854百万円	100.0%	8,870百万円	100.0%	0.2%

	平成16年3月期 第1四半期		平成17年3月期 第1四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
通信販売	5,563百万円	62.8%	5,575百万円	62.9%	0.2%
店舗販売	2,670百万円	30.2%	2,683百万円	30.2%	0.5%
その他	620百万円	7.0%	611百万円	6.9%	1.4%
合計	8,854百万円	100.0%	8,870百万円	100.0%	0.2%

* 前期において、その他チャンネルに計上していたいものの王国通販事業での売上を当期より通信販売チャンネルに計上しております。それに伴い、前期においてその他チャンネルに計上していた1百万円を通信販売チャンネルに組替えて表示しております。

通信販売は、5,575百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

ファンケル化粧品は、広告宣伝費の積極投下により顧客数は回復傾向にありますが、フェナティを中心とした基礎化粧品の売上減少が続いており、売上高は3,453百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

一方、アテニア化粧品は、効果的な広告宣伝活動と販売促進活動により顧客数が過去最高となり（6月末現在）、基礎化粧品、メイク製品ともに引続き好調で、売上高は2,121百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

店舗販売は、店舗オペレーションの見直しなどにより既存店売上高が増加に転じ、また改装や出店効果もあって、店舗販売全体は増加しましたが、店舗での化粧品売上構成比が低下したことにより、売上高はほぼ前年同期並みの2,683百万円（前年同期比0.5%増）に止まりました。6月末店舗数は、ファンケルハウス110店舗（フランチャイズ2店舗を含む：当四半期中、1店出店、1店閉店、4店ファンケルハウスJに業態変更）、ファンケルハウスJ16店舗（旧ファンケルスタイル：当四半期中、2店出店、4店ファンケルハウスより業態変更）、アテニアショップ7店舗（当四半期中、1店出店）、その他業態1店舗（当四半期中、出退店なし）となりました。

その他の販売チャンネルは、香港を中心とした海外向けの販売は増加しましたが、コンビニエンスストアでの日販金額の低下により、611百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

営業損益

損益面では、滋賀工場の稼働などによる経費増および積極的な広告投下を行ったことにより、営業利益は1,597百万円（前年同期比26.3%減）、営業利益率は前年同期に比べ6.5ポイント低下し18.0%となりました。

2) 栄養補助食品関連事業（旧健康食品関連事業）

栄養補助食品関連事業では、北海道大学、日本甜菜製糖株式会社と共同開発した新成分「ツイントース」を配合したミネラル4品目を4月20日、5月21日に改良発売しました。

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、7,230百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

	平成16年3月期 第1四半期		平成17年3月期 第1四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
通信販売	3,912百万円	57.2%	3,850百万円	53.3%	1.6%
店舗販売	1,368百万円	20.0%	1,612百万円	22.3%	17.8%
その他	1,562百万円	22.8%	1,767百万円	24.4%	13.1%
合計	6,844百万円	100.0%	7,230百万円	100.0%	5.6%

*前期において、その他チャネルに計上していたいいもの王国通販事業での売上を当期より通信販売チャネルに計上しております。それに伴い、前期においてその他チャネルに計上していた13百万円を通信販売チャネルに組替えて表示しております。

通信販売は、競争激化により顧客数が減少し、3,850百万円（前年同期比1.6%減）となりました。製品別では、ツイントース配合のミネラル製品やコエンザイムQ10などビタミン群は増加しましたが、ダイエット関連製品やサポートシリーズなどの売上減少をカバーするには至りませんでした。

店舗販売は、店舗販売全体が回復基調にある中で、店舗での栄養補助食品の売上構成比が上昇しており、売上高は1,612百万円（前年同期比17.8%増）となりました。通信販売同様、ツイントース配合のミネラル製品やビタミン群が好調に推移したことに加え、美容関連製品の売上も増加しました。6月末店舗数は、元気ステーションは9店舗（当四半期中、出退店なし）、その他業態2店舗（当四半期中、出退店なし）となりました。

その他の販売チャネルでは、香港を中心とした海外向けが好調だったことおよびGMSでの販売が堅調に推移したことにより、1,767百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

営業損益

損益面では、原材料のコスト削減効果により原価率は低下したものの、新成分「ツイントース」の認知広告の展開など広告宣伝費を大幅に増加させたため、営業利益は611百万円（前年同期比52.6%減）、営業利益率は10.3ポイント低下し8.5%となりました。

3) その他事業

売上高

その他事業の売上高は、4,850百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

	平成16年3月期 第1四半期		平成17年3月期 第1四半期		伸び率
	金額	金額	金額	金額	
発芽玄米事業	1,564百万円	1,444百万円	1,444百万円	1,444百万円	7.6%
青汁事業	793百万円	696百万円	696百万円	696百万円	12.3%
いいもの王国通販事業	1,947百万円	1,728百万円	1,728百万円	1,728百万円	11.2%
その他の事業	881百万円	980百万円	980百万円	980百万円	11.2%
合計	5,186百万円	4,850百万円	4,850百万円	4,850百万円	6.5%

発芽玄米事業は、TV番組で取り上げられたことなどにより、全国米穀販売事業協同組合・ホクレン農業協同組合連合会へのOEM供給は前年同期を上回りましたが、顧客数の減少により通信販売での売上が減少し、全体の売上高は前年同期を下回りました。新製法により味・香り・食感を大幅に改善した発芽玄米は通信販売・店舗販売において6月18日より販売を開始しております。

青汁事業は、天候不順による原料不足により冷凍タイプの販売を中止していたことにより、売上高は前年同期を下回りました。なお、5月21日よりすべての販売チャネルにおいて販売を再開しております。

いいもの王国通販事業（旧NGC通販事業）は、前期大幅な見直しを行ったカタログ販売が伸びず、売上高は前年同期を下回りました。

その他の事業は、雑貨の販売が堅調に推移したことなどにより、前年同期を上回りました。

営業損益

損益面では、広告宣伝費の増加などにより発芽玄米・青汁事業の収益が悪化したことに加え、いいもの王国通販事業が赤字となったことにより、前年同期は黒字であったその他事業の損益は843百万円の営業損失となり、前年同期に比べ970百万円悪化しました。

〈ご参考〉

(要約) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末)		当四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)		(参考) 平成16年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	10,561		6,768		9,300	
受取手形及び売掛金	6,209		6,679		6,472	
有価証券	7,731		7,732		7,732	
たな卸資産	2,921		3,658		3,179	
その他	1,721		2,456		1,875	
流動資産合計	29,146	43.7	27,295	42.0	28,561	43.3
固定資産						
1.有形固定資産						
建物及び構築物	9,440		9,063		9,226	
土地	7,920		8,048		8,048	
その他	2,312		2,094		2,173	
有形固定資産合計	19,673	29.5	19,207	29.6	19,448	29.5
2.無形固定資産	1,344	2.0	740	1.2	811	1.3
3.投資その他の資産						
出資金	2,236		2,392		2,388	
投資有価証券	249		219		205	
保証金	2,224		2,178		2,225	
その他	11,783		12,877		12,260	
投資その他の資産合計	16,494	24.8	17,668	27.2	17,078	25.9
固定資産合計	37,513	56.3	37,616	58.0	37,338	56.7
資産合計	66,659	100.0	64,911	100.0	65,900	100.0
(負 債 の 部)		%		%		%
流動負債						
買掛金	1,690		2,175		2,371	
未払金	2,134		2,825		3,627	
未払法人税等	1,027		221		760	
その他	2,260		1,970		1,181	
流動負債合計	7,113	10.7	7,192	11.1	7,940	12.0
固定負債						
退職給付引当金	759		833		804	
役員退職慰労引当金	383		1,237		1,210	
その他	112		78		78	
固定負債合計	1,257	1.9	2,148	3.3	2,093	3.2
負債合計	8,370	12.6	9,341	14.4	10,034	15.2
(資 本 の 部)						
資本金	10,795	16.2	10,795	16.6	10,795	16.4
資本剰余金	11,706	17.6	11,706	18.1	11,706	17.8
利益剰余金	39,955	59.9	40,506	62.4	40,802	61.9
その他有価証券評価差額金	1	0.0	28	0.0	28	0.0
自己株式	4,168	6.3	7,466	11.5	7,466	11.3
資本合計	58,289	87.4	55,570	85.6	55,865	84.8
負債・資本合計	66,659	100.0	64,911	100.0	65,900	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

(要約) 四半期個別損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)		(参考) 平成16年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	16,389	100.0	16,394	100.0	66,448	100.0
売 上 原 価	5,790	35.3	5,935	36.2	23,850	35.9
売 上 総 利 益	10,598	64.7	10,459	63.8	42,598	64.1
販売費及び一般管理費	8,406	51.3	10,275	62.7	37,450	56.4
営 業 利 益	2,192	13.4	183	1.1	5,147	7.7
営 業 外 収 益	210	1.3	276	1.7	1,354	2.0
受取利息及び配当金	123		125		220	
その他営業外収益	86		150		1,133	
営 業 外 費 用	36	0.2	49	0.3	594	0.8
支払利息	1		-		3	
その他営業外費用	34		49		591	
経 常 利 益	2,366	14.4	410	2.5	5,906	8.9
特 別 利 益	-		-		-	
特 別 損 失	-		10	0.1	1,461	2.2
税金等調整前当期純利益	2,366	14.4	400	2.4	4,445	6.7
法人税、住民税及び事業税	993	6.1	163	1.0	2,235	
法人税等調整額	-		-		392	
四半期(当期)純利益	1,372	8.4	236	1.4	2,602	3.9

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。